

小中一貫教育だより

# 「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～



目標をつなぐ



カリキュラムをつなぐ



子どもの心をつなぐ



教職員の意識をつなぐ



家庭・地域の絆をつなぐ

「小中一貫教育！」



令和4年度 No.7 (2022.9.20)  
担当：熊本市教育委員会事務局  
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

## 合同研修会が各中学校区で開催されました。

### モデル校の五霊中学校区合同研修会

8月1日（月）、植木小学校で行われた校内研修に、今回初めて同じ中学校区の山本小、山東小の先生方もオンラインで参加されました。

講師に熊本大学准教授、北川雅浩先生をお招きして、

- ① 確かな「思考・判断」を育てる授業
  - ② どの子も自分の考えをもつための単元構成
  - ③ 学ぶ力を高める手だてー見通しと振り返りを中心にー
- という内容で講話をいただきました。

同じ中学校区の小学校の先生方が、共通の認識で国語の授業改善に向かう姿勢を確認することができました。

### 小中一貫校の富合中学校区合同研修会

8月19日（金）、富合小学校と富合中学校の先生方の、合同研修会が飽田公民館多目的ホールで開催されました。小中一貫カリキュラムの柱である「総合的な学習の時間」についての研修でした。

小中一貫校として、研究テーマ「ふるさと富合の人・もの・ことを知り、『富合が好き』と語り、誇れる児童生徒の育成」のもと、研究に取り組まれています。

講師に瀬戸 SOLAN 小学校副校長、三宅貴久子先生をお招きして、各学年からの1学期実践内容発表を行い、その内容についてご助言をいただきました。研修を通して、「富合が好き」と思える児童生徒を育成できるよう、さらに学習計画・内容について2学期に向け再度検討し、実践していかれます。

小中学校が共通理解・共通実践を進められ、互いに方向性を再確認された研修となりました。

### 昨年度モデル校の植木北中学校区合同研修会

8月26日（金）、植木公民館で植木北中、吉松小、田底小の先生方や保護者の方々が参加され、小中一貫教育を意識した植木中学校区で初めての合同研修会が開催されました。

講師に宝塚大学看護学部教授、日高庸晴先生をお招きして、

「多様性を認め合う児童生徒の育成～LGBTsの児童生徒の存在を認識した学校での取り組み～」

という内容で講話をいただきました。小中一貫カリキュラムの1つの柱である「人権学習」に視点を置いた研修でした。その後、小中の先生方がグループになり意見交換が行われました。今回の研修をもとに、2学期以降、LGBTsを題材とした人権学習を実施される予定です。

来年度の小中一貫校への移行に向けて、さらに小中の先生方の共通の認識が深まった研修会となりました。

#### 【コラム】小・小連携をどう進めたらよいか

一つの中学校に複数の小学校が接続する際には、小・中学校の連携とともに、小学校同士の連携が必要です。また、中学校段階の課題を直視した上で小学校段階で行うべき共通の取組の必要性を共有することも重要です。

小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 ([mext.go.jp](http://mext.go.jp)) 【p.51】より

Ctrl+クリックを！